

育成センターだより

令和6年度
No. 429

長野市少年育成センター
TEL. 228-8547
FAX. 224-0109

青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)
青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間(7月・11月)
社会を明るくする運動強化月間(7月)

年度前半の育成活動

通り慣れたいつもの道路を通り過ぎると、何か違和感を感じました。「あれ」と思い振り返ると壁一面に落書きが書かれていました。この道路を毎日のように通っています。初めての光景でした。そばにある民家の壁も同じ状況でした。なんと悲しい気持ちになりました。

コロナ禍が過ぎ、今までの活動が平常になりました。活動はもとに戻りましたが、なにかしら不安や不満が表れてきているのでしょうか。これまで、なかったことが起きるときは、見過ごしてきた何か作用しているように思えてなりません。何も無いと思える時が危ないものです。何も無いことに慣れてしまっ



て見えてなくなっている、見ようとしなくなっているのかもしれない。そんな今だからこそ、子どもたちをより温かく見守っていきましよう。

育成活動の重点

甘い誘いは要注意

SNSでの甘い誘いは、要注意。相手が誰か分かりません。ネットで知り合った人に会いにいったらはいけません。



健康的な生活で心身の成長を

早寝早起き朝ごはん。ゲーム・スマホの夜更かしは心身をむしばみます。



深夜の徘徊は非行の芽

深夜の出歩きに、遅い帰宅に、愛の一声を。コンビニ前、公園、神社、駐輪場などに愛の眼差しを!!

困る前にまず相談

相談に、早すぎることはありません。困る前に相談を。

「ではないからできること」

長野市教育委員会 教育次長 唐木 英俊

新型コロナウイルス感染症が五類に移行して、一年余りが過ぎました。改めて振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症対策により、大きな変化を余儀なくされた数年。それは、「学校とは何か」を問われた数年でもあったと思います。そして、新型コロナウイルス移行後、大きな問題となったのが不登校児童生徒数でした。令和四年度、その数は全国で約三十万人、長野市でも約八百人と、いずれも過去最高となりました。この数字もまた、「学校とは何か」という問いを私たちに投げかけています。

この課題解決に向けた一つの取組として長野市では、本年度、教育支援センターSaSa LANDを開設しました。開設以来、一日平均約三十人の児童生徒が通い、生活をしていきます。その中には、ほとんど学校に通えていなかった子どもたちも多数含まれています。昨年度、ほとんど学校に通えず、家庭で家族だけ過ごしていた子どもが、SaSa LANDでは年齢や学年を越えて遊んだり、時には一人で静かに過ごしたりしながら集団の中で生活することができています。その子にとって、学校がきつと辛い場所であったのだからと想像しながらも、なぜSaSa LANDには通えるのだろうか

自分に向う日々です。当然、この子どもたちの姿から、学校教育の課題や反省すべきことも浮かんできますが、同時に、学校「ではないからこそできること」があるのではないかと、そんな思いを持ちます。

教育だけでなく、多様な複雑化する社会情勢の中、様々な課題に対して、チームで対応することの必要性が高まってきています。学校だけ、家庭だけ、地域だけでは到底解決できない時代となつてきていることを強く感じます。やはり、〇〇「だけ」でやろうとする、〇〇「しかない」という思考に陥りがちです。「だけ」「しかない」から脱却し、〇〇「ではないからできること」という視点を持つことも必要ではないでしょうか。学校、家庭、地域(社会)がそれぞれの「できること」の中で力を発揮しつつ、〇〇「ではないからできること」〇〇「なら

できること」で互いにカバーし合おう、そんな協働の中で、子ども一人一人の成長を支えていくことができればと願っております。



学校紹介
「ともて輝け、徳間の子」
 徳間小学校 教諭 塩澤 幸彦

徳間小学校は本年度開校四十四周年を迎えた長野市東北部に位置する学校です。本年度の児童数は五百八十七名。北には三登山、飯縄山、東には志賀高原が見渡せる場所です。

本校では「ともに輝き明日を拓く徳間の子」を目標に掲げ、あいさつや清掃、友達の気持ちになって考え行動することを大切にしています。そんな徳間小の特徴を紹介したいと思います。

朝、昇降口に入ると、代表委員の当番があいさつをしてくれます。おかげで全校が「あいさつをしよう」という雰囲気まで一日をスタートできます。誰に対しても目を見て元気な声でできる子、声をかけると返してくれる子、中には気分がのってないのか、小さな声だったり、返してくれなかったりする子もいます。でも、あいさつは心のバロメーターでもあるので、その微妙な変化を感じられる教師でありたいと思います。この写真は毎日の清掃の様子です。徳間小では、「とくまっ子清掃」として「掃除の時間を守る、分担当所を一生懸命、自分の心に問いかける」を合言葉に取組んでいます。お世話になっている校



ながら、時間いっぱい、最後に「振り返り」を合言葉に取組んでいます。お世話になっている校

舎をきれいにすることを当たり前のように行っている子どもたちです。また高学年がしっかりと掃除する姿を見せることでその雰囲気が低学年に受け継がれてきている感じがします。毎日のことで見過ぎてしまいがちですが、その積み重ねが、大きな力になっていくと思います。



もう一つ、徳間小の特徴として、「校庭や中庭、大きな木や池、小川」といった自然の中で遊べるスペースがあるという点が挙げられます。写真は、「ふれあいの森」で、校庭の一角に植林された大きな柳の木やポプラがある林です。木陰には池や小川が作られていて、子どもたちの遊び場となっています。春には桜の花びらが舞い、夏には虫やカエルをとり、秋には落ち葉を拾い、冬には雪の小山が滑り台に変わります。中庭にも池があり、季節によって花が咲き、実のなる木がたくさんあります。授業でしっかりと学び、休み時間に思い切り遊ぶことがメリハリになっています。そして遊ぶスペースがあること、それが自然であること、四季の変化を感じながら遊び、発見したことが理科や生活科、社会にもつながる。遊びだと思っていたことがいつの間にか学びになっていく。そんな広がりを感じて徳間小のいいところを感じてくれていると思います。そのことを誇りに思っています。成長していけるよう、支えていきたいと思っています。

学校紹介
生徒の自立と地域貢献を目指した活動
 篠ノ井東中学校 教諭 赤羽 健郎

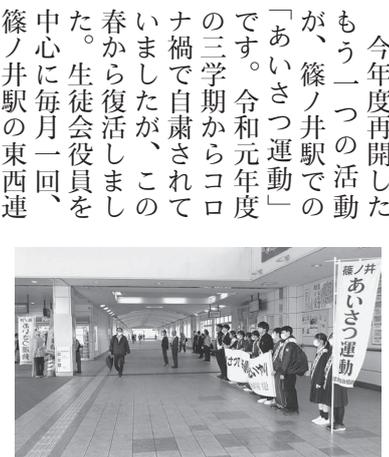
本校は三百七十二名の生徒が在籍する規模校です。昭和四十一年十月に旧篠ノ井市と長野市との合併により、その年の四月から旧通明中学校が校名変更され、篠ノ井東中学校となりました。来年度、篠ノ井東中学校は六十周年を迎えます。現在それに向け、どんな事業をやっていかればいいのか、生徒の意見を取り入れながら考えていこうとしています。

本校では、目指す生徒の姿を「自立した生徒・地域に貢献する生徒」として教育活動を行っています。自立の姿が見られる場面が、本校の伝統として大切に取組んでいる清掃です。ただ無言で清掃するだけではなく、時間いっぱい気づき清掃に取り組む生徒の姿が見られます。また、日常の清掃では磨ききれない汚れを落とすために、「みがき隊」という有志を募り清掃する活動も、平成二十九年度から行っています。毎年百人以上の生徒が参加しています。昨年度は七月と三月に行いました。例えばトイレ清掃では、洋式トイレの便器の裏側、男子トイレの目皿などをゴシゴシキュッキュッと磨きます。はじめは躊躇する様子も見られますが、綺麗になる快感に心動かされるまでに、そんなに時間は要しません。トイレ以外にも、水道や窓、廊下の床などを夢中になって磨く生徒たちの輝く表情からは、自ら動いて一つのことを成し遂げたという達成感がうかがえます。また、ここ数年コロナ禍で自粛していた地域での活動も戻ってきていま



また、ここ数年コロナ禍で自粛していた地域での活動も戻ってきていま

す。その一つが平成三十一年度開始した「地下道清掃」です。本校の生徒だけでなく、地域の方々も利用する近くの地下道を清掃します。昨年度はこの活動に約八十名の有志が参加しました。バケツやペットボトルで水を持っていき、地下道の壁を傷めないように、タワシや雑巾で一生涯懸命磨きます。白い壁のしつこい黒ずみは完全には落ちませんが、ここ数年間の壁表面の砂ぼこりがとれ、バケツの水はあつという間に茶色に汚れました。しかし子どもたちの表情からは、清々しさを感ずりました。日頃当たり前に使っている地下道への感謝の気持ち、地域への恩返しへの気持ちを込めたこの活動をこれからも大切にしていきたいと思っています。



今年度再開したもう一つの活動が、篠ノ井駅での「あいさつ運動」です。令和元年度の三学期からコロナ禍で自粛されていましたが、この春から復活しました。生徒会役員を中心に毎月一回、篠ノ井駅の東西連絡通路に立ち、地元の方々に「おはようございます」の爽やかな声を届けています。地域の方々と一緒に行うあいさつ運動への取組が、篠ノ井の地域をより元気にすることに繋がっていくことを願っています。本校ではこれからも、生徒の自立と自分たちの生まれ育った「ふるさと篠ノ井」を大切に地域貢献活動に取り組む姿勢を更に高められるよう、教育活動に取り組んで参りたいと思っています。

学校少年育成委員の活動報告 （春休みの巡回指導を通じて）

昨年度末の春休みに学校少年育成委員の百九名の先生方が各地区で巡回指導を行いました。子どもたちは、意外と自分の時間もてる春休みですが、地域の様子はどうだったのでしょうか。学校少年育成委員の皆様には、春休み、夏休みと学区内や通学路を巡回していただいています。多くの声掛けもしていただきました。ありがとうございます。

以下は巡回時の記録の一部です。

○長野駅前・権堂周辺
・友達と来て、お菓子を食べながら勉強をしていることが多い。問題行動はないが、注意すれば直ぐに聞き入れる。映画館、ゲームセンターは大分込み合っていた。



○市街地北部方面
・複合施設を巡回するが、親子連れが多く、中学生の姿が見られなかった。ゲームセンターや警備員さんに話を聞いたが、問題行動の情報はなかった。
・ゲームセンターに数人の生徒がいた。話しかけると帰宅した。

○篠ノ井・川中島・東北方面
・以前学校に「イトインコーナーで小学生数名が、子どもだけで飲食している」という電話があった。そのため巡回したが、子どもたちはきて

いなかった。また、それ以来連絡はきていない。

・子どもたちだけで来店することはあまりないが、一階で保護者が買い物している間に、待っている子どもが時々いるので、気を付けて様子を見ている。昼時、子どもが兄弟で弁当を買いに来た。母親の姿がなかったので事情を聞くと、母親は承知しているとのこと。

会計後、帰宅した」とスーパードから話を聞いた。



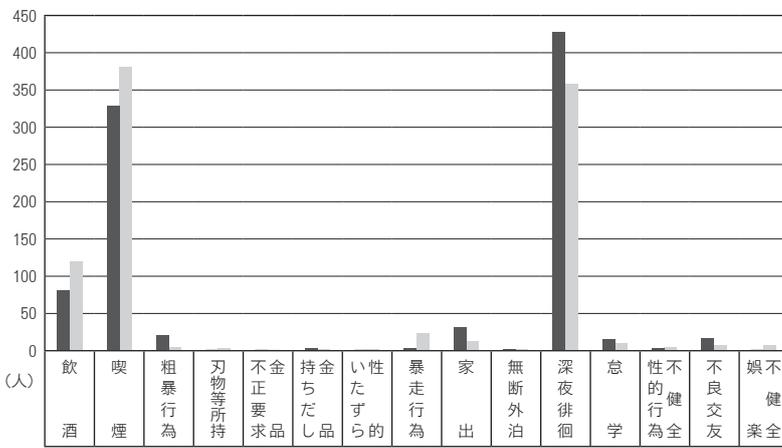
○市街地東部方面
・一学期に学区内の薬局に来る小学生がアイスクリームを万引きしている可能性があるという話を聞き、今回の巡回でその後の小学生による万引きや問題行動はないか挨拶も兼ねて確認した。

○市街地西部方面
・コンビニの店長に春休みに来店する子どもの様子を伺うと、「小学生はほとんど来ない、たまにお菓子を買いに来るがとりたてて連絡するようなことはない」ということでした。

市内全地域を巡回していただきました。比較的落ち着いた様子で春休みを過ごしていたことが伺えました。近隣のお店や施設の方とつながり、みんな子どもたちを温かく見守りましょう。

長野市少年補導の現状

学校少年育成委員の先生方や各地区の青少年育成に関わる方々が各地区の巡回をしています。とりわけ、大きなトラブルや事件・事故、子どもたちが関わる問題の話を聞くことが少なくなってきました。たいへん喜ばしいことですが、果たして実際はどうでしょうか。



この棒グラフは、長野市の少年補導の現状を表したものです。左側が令和四年、右側が令和五年です。このグラフからどんなことがいえるでしょうか。

少年相談専門委員の委嘱



令和六年度の委員が決まりました。これからは、各学校が取り組んでいる生徒指導事例を持ち寄り、意見交換や協議を重ね、少年相談が果たす役割とあり方を探り、生徒指導力や生徒理解力を互いに磨き合っていきます。

課題や困難を抱えている児童や生徒に対しては、各校での対応の仕方や支援体制の構築、職員研修の持ち方、専門機関との連携のあり方などについても意見交換し、幅広い支援を考えていきます。年間四回を予定しています。また、昨年に引き続き関係機関への訪問も考えています。

- 委員長 小林 克年 (櫻ヶ岡中)
- 副委員長 中村 修吾 (若槻小)
- 委員 関屋 元紹 (大豆島小)
- 園原 成偉紀 (川中島小)
- 小林 慎弥 (柳町中)
- 新井 秀和 (裾花中)
- 寺島 由美 (市立長野高校)

令和6年度 少年育成センターの年間行事(予定)

- 5月16日(木) 少年相談専門委員委嘱式と第一回委員会
- 5月～6月 各住民自治協議会への訪問
- 6月15日(土) 巡回指導・環境浄化活動関係者の研修会
- 7月1日(月) 生徒指導学校関係者合同研修会(小学校)
- 2日(火) 生徒指導学校関係者合同研修会(中・高・特)
- 6日(土) 一日少年育成委員①
(各校PTA、市民の希望者による街頭指導体験)
- 8日(月) 少年相談連絡会
- 11日(木) 長野県青少年補導活動推進大会(小諸市文化センター)
- 7月末～8月末 学校少年育成委員夏季休業巡回指導
- 9月7日(土) 一日少年育成委員②
- 10月5日(土) 一日少年育成委員③
- 19日(土) 青少年健全育成フェスティバル(長野市若里市民文化ホール)
- 11月2日(土) 長野県青少年健全育成県民大会(中野市民会館)
- 9日(土) 一日少年育成委員④
- 3月頭～4月頭 学校少年育成委員年度末休業巡回指導



生徒指導学校関係者合同研修会



一日少年育成委員

通年 立入調査
(書店、DVD販売店、コンビニエンスストア等)
長野駅、繁華街など中心市街地巡回指導
長野市内ゲームセンター、カラオケボックスの巡回指導

一日少年育成委員募集

一日少年育成委員は、長野駅周辺市街地を巡回し、街頭指導や子どもたちへの声掛けなどの体験を行います。



長野駅前巡回

毎年、小学校、中学校、高校のPTAの方々に参加していただいています。長野駅前のカラオケボックス、ゲームセンター、アニメやカード販売の店舗など巡回し、駅前交番で警察官の方から現在の青少年の様子や犯罪等について話を聞いてきます。市民の皆様からの希望者も大歓迎です。

一日 程

上記一日少年育成委員①～④の日程
二時 間
13時30分～16時30分

三 申込方法

参加希望者は、希望日一週間前までに少年育成センターまで、はがき、電話、ファックス、メールのいずれかでお申込みください。詳細は、少年育成センターホームページをご覧ください。



(少年育成センター)

少年相談

子どもの非行問題や生活に関すること、またネットトラブル、ゲーム依存にかかわる相談を受けています。お気軽に連絡をください。来所相談も受け付けています。



困ったら、困る前にも

少年育成センター相談ダイヤルへ

電話 228-8588

月々金曜日 8時30分～17時15分

※匿名でけっこうです

今年は、このメンバーで運営します。よろしく願います。

- 所長 小山 敏信
- 所長補佐(兼) 古平 京子
- 主任指導主事 小林 寛二
- 指導主事 中澤 毅一
- 事務員 山田みゆき



編集後記

コロナ禍の空白になった時間は、これまでの活動の必要性を問うことになりました。途絶えたことを復活させていくには情熱が肝になりそうです。今年一年よろしく願います。